Llibrary News

令和７年９月12日　９月号　湖南高等学校図書館

9月1日は防災の日

大正 12 年（1923 年）９月１日に発生した関東大震災をきっかけに、一人ひとりの防災対策の重要性を広く国民に理解してもらうため、９月１日が「防災の日」と制定されました。日本は地震、豪雨などの自然災害が発生しやすいです。様々な災害に備えるため、図書館では災害に関する本を展示しています。

裏面に展示している本を紹介しています。

多読賞は誰の手に！？

多読賞とは、一番本を読んだ人に贈られる賞です。湖南高校図書館からの貸出が一番多い人が多読賞を手にすることができます。

多読賞には**「令和７年度多読賞」**と**「多読賞」**の２種類があります。「令和７年度多読賞」の最低基準は 30 冊、「多読賞」の最低基準は「100 冊」です。どちらも副賞として、図書カードが贈呈されます。

〈計算期間について〉

令和７年度多読賞は 4/1～12/31 までの期間に借りた本の冊数で計算されます。1・2 年生が 1/1～3/31 までの期間に借りた本の冊数は、次年度に計上されます。

カーリル

ブクログ

図書案内

これまでに図書館に入った本を紹介します。

本棚から見つからない時は司書までお声がけください。

小説

『アルジャーノンに花束を　新版』ダニエル・キイス

『二木先生』夏木志朋

『みんな蛍を殺したかった』木爾チレン

『やなやつ改造計画』吉野万理子

『ミルキーウェイ』堀米薫

『それいけ！平安部』宮島未奈

『ノベライズ　君が心をくれたから 1』宇山佳祐

『ノベライズ　君が心をくれたから 2』宇山佳祐

健康

『季節の不調が必ずラク~になる本』瀬戸佳子

『お手軽気血ごはん １週間で必ず体がラクになる』瀬戸佳子

『気血スープ　１週間で胃腸が必ずよみがえる』瀬戸佳子

その他

『ビブリオバトルガイドブック』ルール改訂版

『おかしな友情』むくえな

小説から災害を考える

『すずめの戸締り』新海誠
『少年と犬』馳星周
『塩の街』有川浩
『滅びの前のシャングリラ』凪良ゆう

災害救助・情報伝達を考える

『いのちを救う災害時医療』森村尚登
『ドキュメント豪雨災害』谷山宏典
『湘南 ER が教える大切な人を守るための応急手当』湘南 ER
『特務機関 NERV』川口穣

震災を忘れない・防災のために

『震災アーカイブを訪ねる』大内悟史
『東日本大震災「葬送の記」』菅原裕典

『もしもワニに襲われたら』ジョシュア・ペイビン
『いのちをまもる図鑑』池上彰（監）
『ストーカー完全撃退ハンドブック』

避難所生活を考える

『感染しないひなん所生活』
『みんなはどう思う？感染症』